

# 大学の量的規模に関する資料(その1)

平成20年12月16日  
文部科学省

# 目次

1	基本データ	2
2	大学（学士課程）の入学定員と入学者数の推移	3
3 (1)	大学数と18歳人口の推移	4
3 (2)	大学数と学生数の推移	5
4 (1)	大学数や進学率等に関する欧米との比較	6
4 (2)	各国の大学進学率の比較	7
5 (1)	設置者別・分野別の学生数	8
5 (2)	大学（学士課程）の設置者別・分野別の学生数	9
6 (1)	将来の地域別人口推計	10
6 (2)	将来の地域別0-19歳人口推計	11
6 (3)	将来の地域別65歳以上人口推計	12
6 (4)	将来の世界人口の推計	13
7 (1)	進学率・地元進学率	14
7 (2)	私立大学の地域別定員充足率	15
8 (1)	大学院在学者数の推移	16
8 (2)	博士課程への入学状況（分野別・全体）	17
9 (1)	25歳以上の入学者の割合	18
9 (2)	大学への入学年齢の散らばりの国際比較	19
9 (3)	社会人学生等の受入に関連する状況	20

# 1 基本データ

## ①大学数

	大学数		短期大学数
	うち大学院をおくもの(割合)		
国立	86	85 98.8%	0
公立	75	65 86.7%	24
私立	591	448 75.8%	361
合計	752	598 79.5%	385

## ②学生数

	学部	大学院			短期大学本科	
		修士	博士	専門職		
国立	454,653	153,813	94,887	51,614	7,312	9
公立	114,134	14,705	9,627	4,445	633	10,125
私立	1,950,940	94,169	60,909	18,172	15,088	156,314
合計	2,519,727	262,687	165,423	74,231	23,033	166,448

## ③学部数

	昼間部	夜間部	合計
国立	342	29	371
公立	155	12	167
私立	1,484	57	1,541
合計	1,981	98	2,079

## ④研究科数

	研究科数			
	修士課程	博士課程 (区分制)	博士課程 (一貫制)	合計
国立	98	280	15	393
公立	39	101	1	141
私立	324	689	47	1,060
合計	461	1,070	63	1,594

## ⑤入学定員・定員充足状況

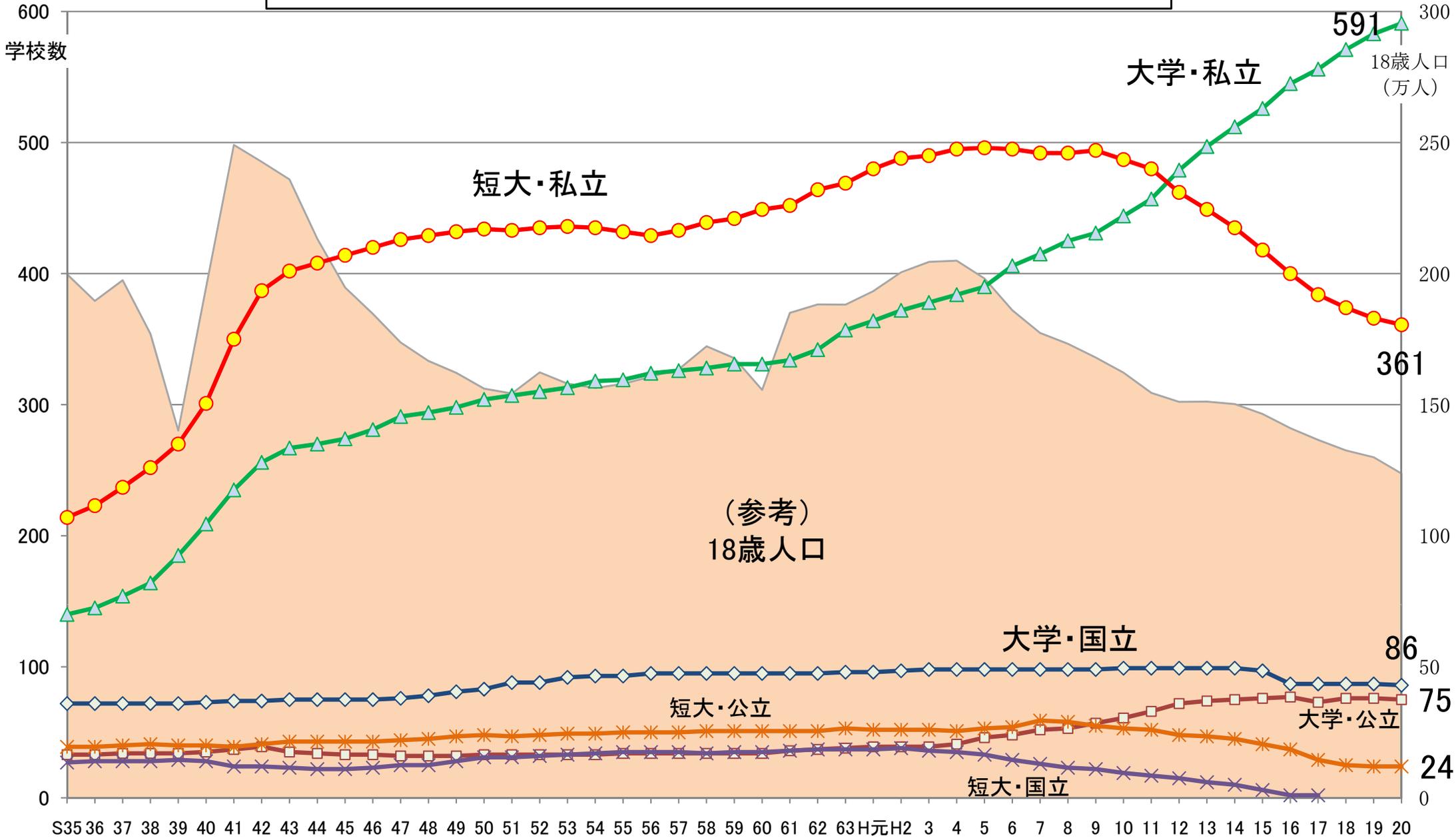
	学部	大学院			短期大学	
		修士	博士	専門職		
入学定員	570,250	114,077	79,455	23,885	10,737	87,577
入学者数	607,159	103,135	77,396	16,271	9,468	77,339
<b>充足率%</b>	<b>106.5%</b>	<b>90.4%</b>	<b>97.4%</b>	<b>68.1%</b>	<b>88.2%</b>	<b>88.3%</b>
入学志願者数	3,625,031	187,158	120,593	20,001	46,564	127,786

## 2 大学(学士課程)の入学定員と入学者数の推移

	入学定員								入学者数							
	大学				短期大学				大学				短期大学			
	国立	公立	私立	合計	国立	公立	私立	合計	国立	公立	私立	合計	国立	公立	私立	合計
H元	97,094	11,954	294,937	403,985	5,910	9,350	162,340	177,600	99,221	12,883	364,682	476,786	5,891	9,872	209,601	225,364
2	97,819	12,449	304,412	414,680	5,865	9,265	167,500	182,630	100,991	14,182	377,167	492,340	5,825	9,931	219,439	235,195
3	100,104	13,611	336,410	450,125	5,605	9,265	183,050	197,920	102,668	14,473	404,758	521,899	5,601	9,854	234,097	249,552
4	102,344	14,241	356,683	473,268	5,325	9,305	188,345	202,975	105,598	15,378	420,628	541,604	5,288	9,872	239,516	254,676
5	103,084	15,553	359,508	478,145	5,095	9,460	188,340	202,895	107,978	17,237	429,758	554,973	5,065	10,136	239,752	254,953
6	104,014	16,333	366,393	486,740	4,345	9,870	185,700	199,915	108,251	17,433	435,131	560,815	4,306	10,588	230,001	244,895
7	104,314	17,133	371,688	493,135	3,845	10,190	183,335	197,370	108,599	18,835	441,142	568,576	3,807	10,620	218,314	232,741
8	104,464	17,598	376,851	498,913	3,365	9,950	180,765	194,080	108,910	18,808	451,430	579,148	3,366	10,459	207,050	220,875
9	104,064	18,463	383,434	505,961	3,190	9,710	178,425	191,325	109,256	20,235	457,197	586,688	3,174	9,960	194,412	207,546
10	102,526	19,813	393,396	515,735	2,750	9,100	172,730	184,580	107,311	21,205	462,227	590,743	2,774	9,524	179,132	191,430
11	99,899	21,011	403,897	524,807	2,470	8,745	165,065	176,280	105,240	22,629	461,690	589,559	2,483	9,078	157,412	168,973
12	97,297	21,792	416,356	535,445	2,190	8,105	141,776	152,071	103,054	23,578	473,023	599,655	2,228	8,445	130,818	141,491
13	97,337	22,289	419,744	539,370	1,790	7,705	131,413	140,908	103,013	24,125	476,815	603,953	1,836	8,080	120,330	130,246
14	97,072	22,399	423,848	543,319	1,530	7,475	117,585	126,590	103,301	24,276	481,760	609,337	1,558	7,753	112,130	121,441
15	97,187	22,916	423,715	543,818	970	6,930	108,533	116,433	103,702	25,153	475,870	604,725	983	7,215	104,831	113,029
16	96,525	23,084	425,652	545,261	290	6,370	99,086	105,746	103,552	25,074	469,705	598,331	309	6,606	99,289	106,204
17	96,485	24,063	431,227	551,775	290	5,175	94,296	99,761	104,130	26,050	473,580	603,760	300	5,451	93,680	99,431
18	96,393	25,033	440,533	561,959	0	4,485	91,381	95,866	104,027	26,935	472,092	603,054	0	4,708	86,032	90,740
19	96,278	25,235	445,610	567,123	0	4,485	87,857	92,342	102,455	26,967	484,191	613,613	0	4,724	79,872	84,596
20	95,956	25,462	448,832	570,250	0	4,485	83,202	87,687	102,345	27,461	477,353	607,159	0	4,697	72,642	77,339

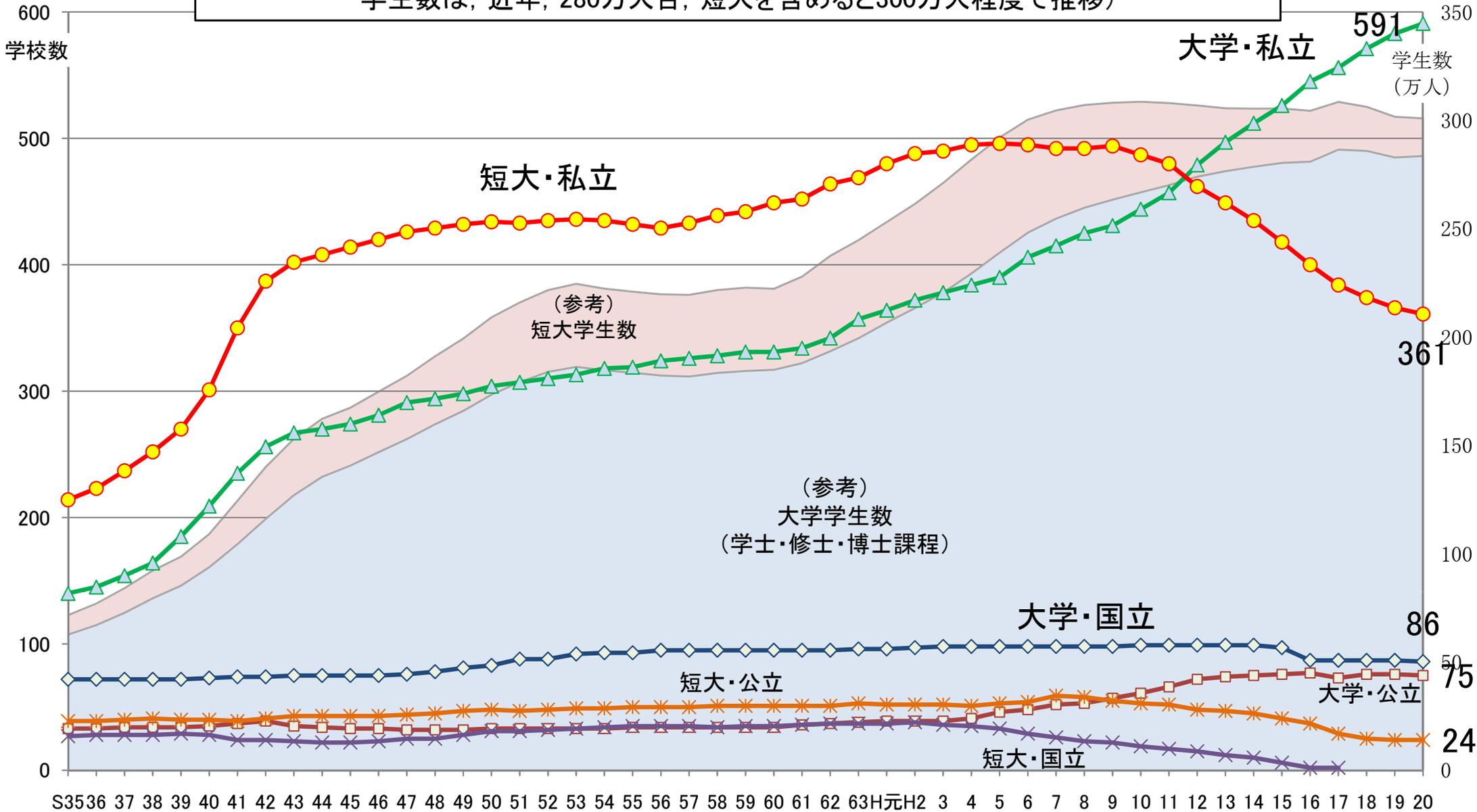
# 3(1) 大学数と18歳人口の推移

これまで18歳人口については増減が見られるが、大学数は一貫して増加傾向  
 (平成元年度は国公私計で499校に対し、平成20年度は752校)



# 3(2) 大学数と学生数の推移

これまで大学数と学生数とも増加傾向にあったが、近年、学生数は大きくは変化していない。  
 (大学数は、平成元年度は国公私計で499校に対し、平成20年度は752校。  
 学生数は、近年、280万人台、短大を含めると300万人程度で推移)



# 4(1) 大学数や進学率等に関する欧米との比較

アメリカでは、私立が大学数の7割以上を占めるが、学生数では州立大学が7割近くを占める。また、ヨーロッパでは、大学数・学生数とも、国立(連邦制であるドイツは州立)が多くを占める。我が国は、人口1000人当たり学生数や留学生受入数に関して、欧米に後れを取っている。

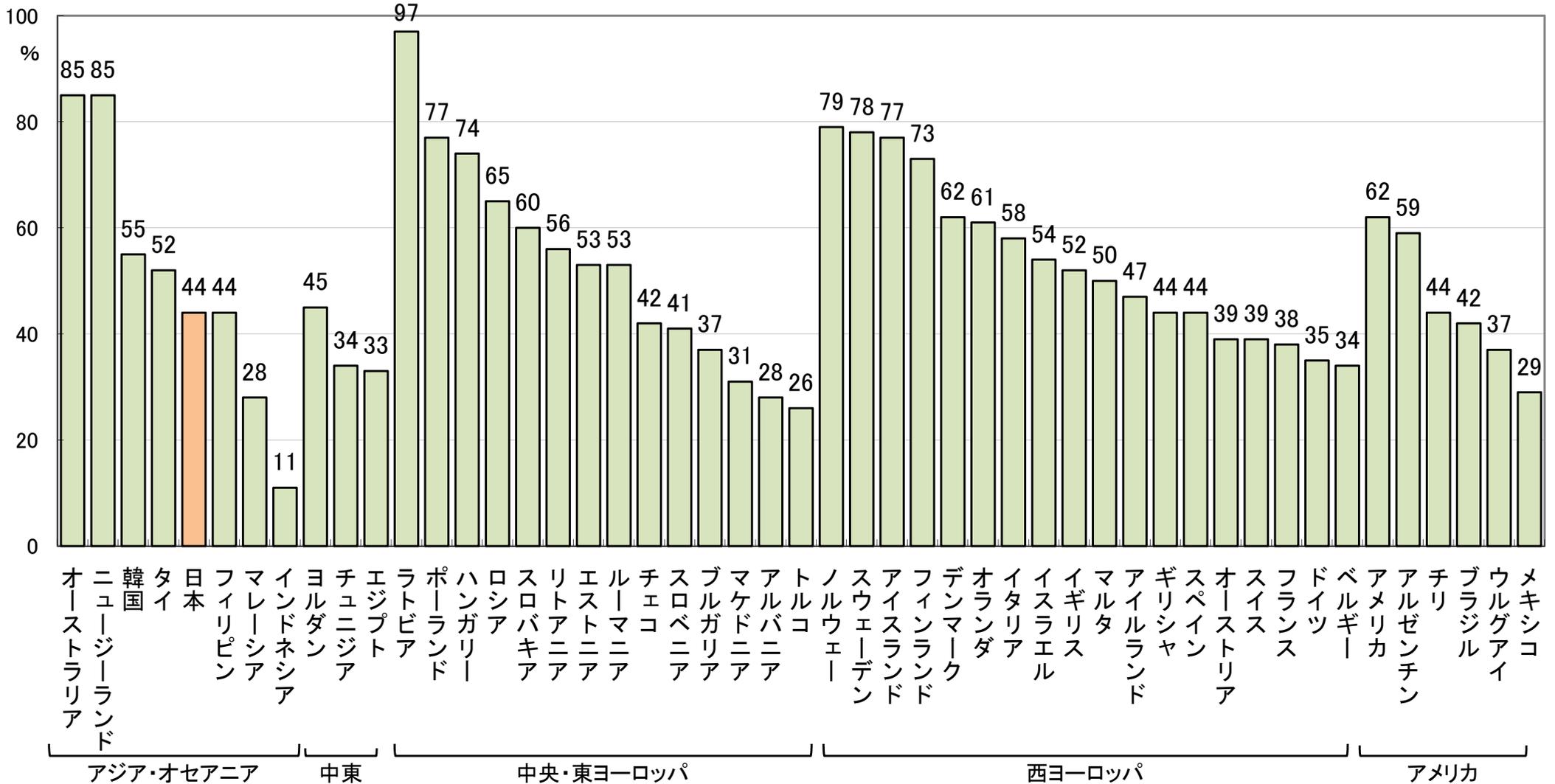
	日本	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ
大学数	752校 	2,579校 	169校 	94校 	376校 
学生数 (学部・大学院のみ)	学部252万人 大学院26万人 	学部848万人 大学院252万人 	学部180万人 大学院56万人 	学部88万人 大学院52万人 	学生数199万人 
学部進学率	49%	64%	57%	41%	37%
人口1000人 当たり学生数	22人 学部 20人 大学院 2人	37人 学部 29人 大学院 9人	39人 学部 30人 大学院 9人	23人 学部 14人 大学院 9人	24人 <small>〔ドイツでは、大学院として独立した組織が存在しない〕</small>
留学生受入数	9万1000人 学部 6万人 大学院 3万2000人	56万5000人 学部 23万6000人 大学院 26万人	24万9000人 学部 13万2000人 大学院11万7000人	21万人 学部 10万2000人 大学院10万8000人	19万人

日本は2008年、アメリカは2005年、イギリスは2006年、フランスは2005年、ドイツは2005年、韓国は2006年の統計を主に使用  
 (文部科学省「教育指標の国際比較」、OECD「図表でみる教育」、各国の統計資料等を基に作成。表中の数値は、四捨五入により合計が一致しないことがある)

## 4(2) 各国の大学進学率の比較

大学進学率(入学者数(年齢は問わない)の入学年齢相当人口に対する割合)は、国によって大きく異なる。その中で、日本の進学率44%は国際的に見て、決して高い水準とは言えない。

2005年

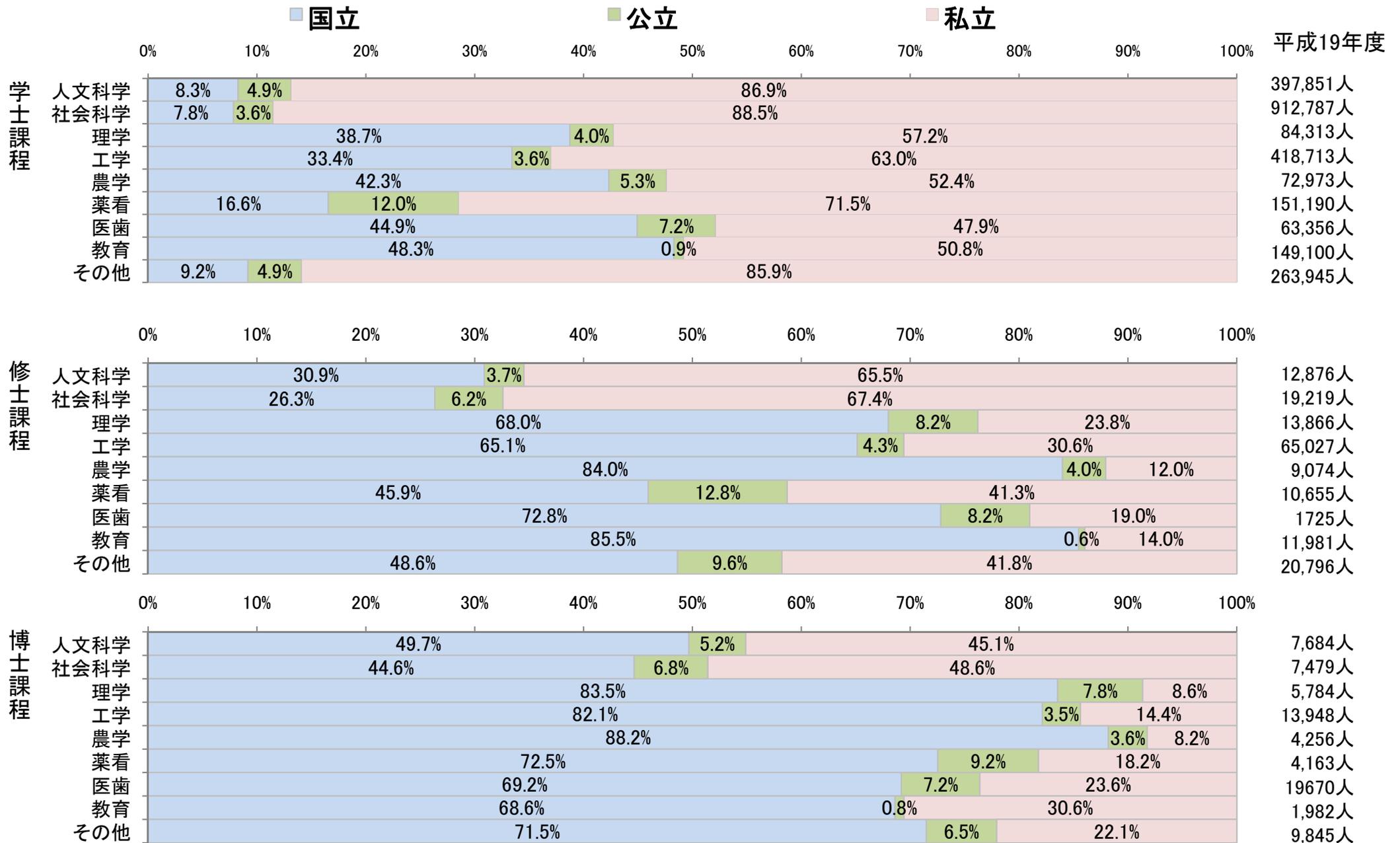


上記のほか、中国の進学率は約20%、シンガポール23.5%(ポリテクを加えると62%)、台湾79.0%と推計される。

(いずれも、各国の統計を基に文部科学省において独自に試算)

# 5(1) 設置者別・分野別の学生数

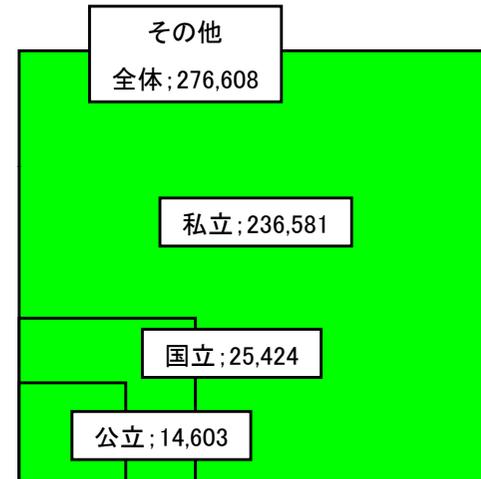
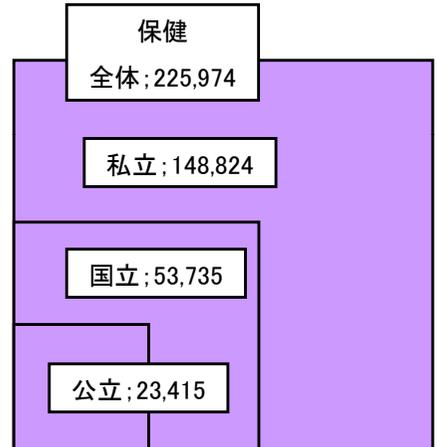
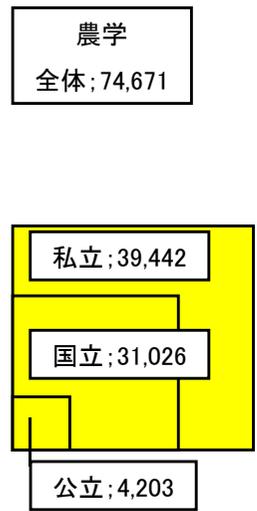
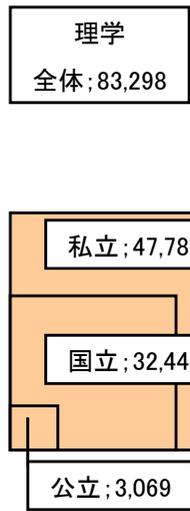
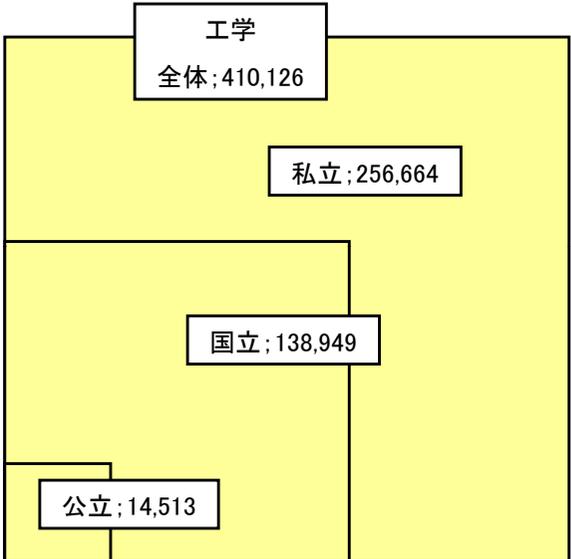
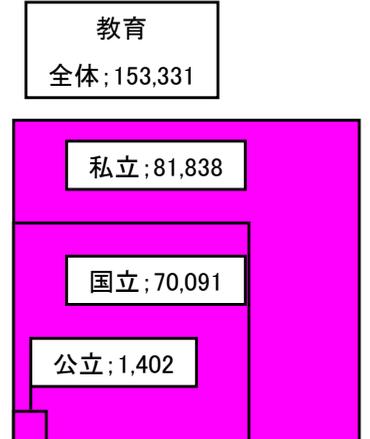
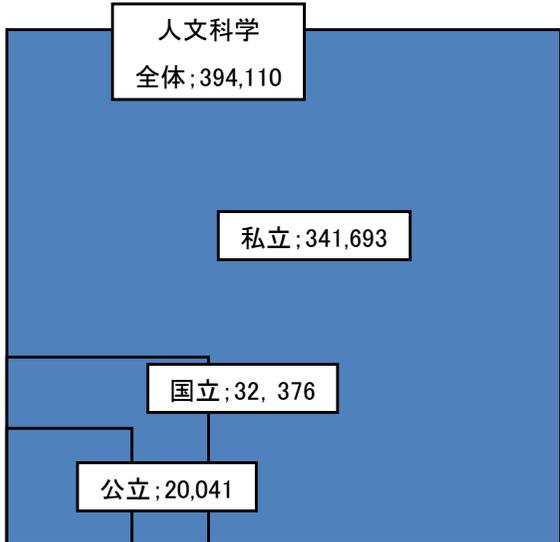
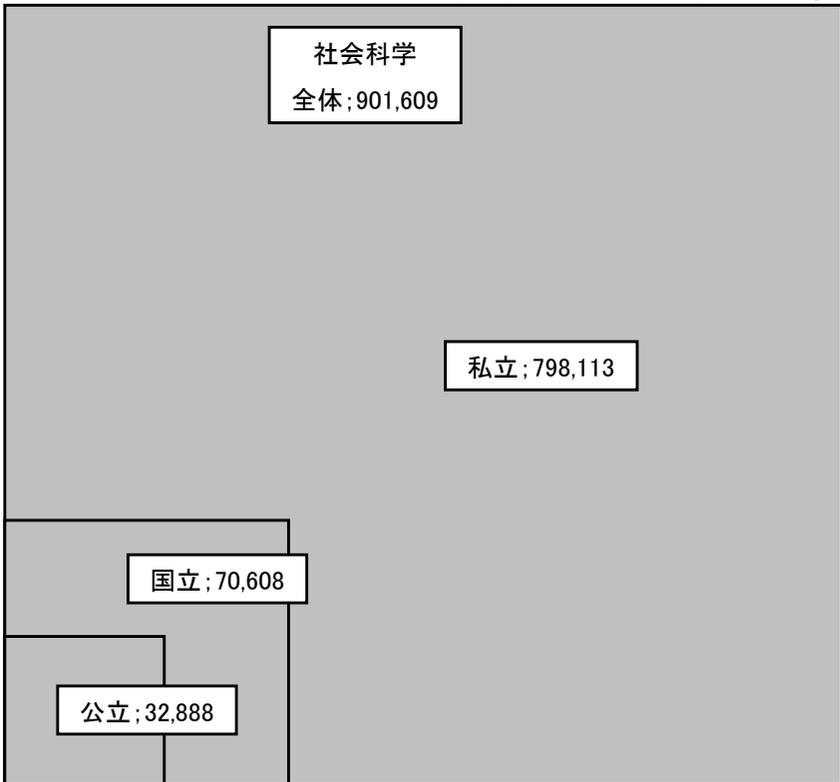
学士課程では、私立が77%を占めるが、修士課程と博士課程では、国立がそれぞれ58%、70%を占める。



# 5(2) 大学(学士課程)の設置者別・分野別の学生数

設置者別・分野別の学生数を、面積で相対的に表している。  
 全学生数252万人のうち、多いのは社会科学90万人(うち私立80万人)、  
 人文科学39万人(うち私立34万人)、工学41万人(うち私立26万人)。

(平成20年度)



## 6(1) 将来の地域別人口推計

我が国の人口は、減少傾向期に入っており、平成42年には、17年の水準の90%。ただし、減少率は地域によって異なり、最も減少する東北地方の82%に対して、東京はほぼ現状維持。

	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)
人数(単位:千人)							
北海道	5,628	5,513	5,360	5,166	4,937	4,684	4,413
東北	9,635	9,372	9,060	8,692	8,289	7,866	7,429
北関東	7,016	6,943	6,812	6,631	6,414	6,168	5,894
南関東	21,902	22,152	22,139	21,925	21,527	20,970	20,281
東京	12,577	12,906	13,059	13,104	13,047	12,905	12,696
甲信越	5,512	5,392	5,234	5,043	4,835	4,616	4,384
北陸	3,107	3,052	2,973	2,875	2,764	2,645	2,516
東海	15,021	15,074	14,969	14,744	14,429	14,044	13,593
京都・大阪	11,465	11,365	11,171	10,891	10,532	10,113	9,651
近畿	9,428	9,348	9,186	8,954	8,667	8,342	7,982
中国	7,676	7,540	7,349	7,109	6,834	6,538	6,221
四国	4,086	3,980	3,846	3,687	3,514	3,334	3,147
九州	14,715	14,539	14,272	13,913	13,480	12,997	12,472
全国	127,768	127,176	125,430	122,735	119,270	115,224	110,679
平成17年の 人口を100 とした場合							
北海道	100.0	98.0	95.2	91.8	87.7	83.2	78.4
東北	100.0	97.3	94.0	90.2	86.0	81.6	77.1
北関東	100.0	99.0	97.1	94.5	91.4	87.9	84.0
南関東	100.0	101.1	101.1	100.1	98.3	95.7	92.6
東京	100.0	102.6	103.8	104.2	103.7	102.6	100.9
甲信越	100.0	97.8	95.0	91.5	87.7	83.7	79.5
北陸	100.0	98.2	95.7	92.5	88.9	85.1	81.0
東海	100.0	100.4	99.6	98.2	96.1	93.5	90.5
京都・大阪	100.0	99.1	97.4	95.0	91.9	88.2	84.2
近畿	100.0	99.1	97.4	95.0	91.9	88.5	84.7
中国	100.0	98.2	95.7	92.6	89.0	85.2	81.0
四国	100.0	97.4	94.1	90.2	86.0	81.6	77.0
九州	100.0	98.8	97.0	94.6	91.6	88.3	84.8
全国	100.0	99.5	98.2	96.1	93.3	90.2	86.6

国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(平成19年5月推計)結果表・表1(1)を基に作成(出生中位・死亡中位で仮定)

## 6(2) 将来の地域別0-19歳人口推計

今後の我が国の若年層人口は、総人口以上のペースで減少し、平成42年には、17年の水準の64%に下がる。もっとも減少する東北・四国地方が59%であり、東京は76%に減少。

	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)
人数(単位:千人)							
北海道	1,013	901	803	710	625	560	507
東北	1,854	1,659	1,489	1,331	1,194	1,087	996
北関東	1,372	1,262	1,156	1,038	930	848	788
南関東	4,101	3,906	3,636	3,284	2,938	2,687	2,529
東京	2,014	1,984	1,919	1,801	1,657	1,522	1,434
甲信越	1,055	966	874	778	698	639	595
北陸	593	548	501	447	399	365	341
東海	2,964	2,801	2,614	2,373	2,148	1,990	1,888
京都・大阪	2,153	2,029	1,878	1,677	1,496	1,363	1,274
近畿	1,854	1,719	1,579	1,412	1,261	1,154	1,079
中国	1,463	1,343	1,230	1,104	988	903	840
四国	752	682	618	549	487	441	405
九州	2,991	2,741	2,525	2,307	2,105	1,943	1,810
全国	24,178	22,542	20,823	18,810	16,925	15,502	14,486
平成17年の 人口を100 とした場合							
北海道	100.0	89.0	79.3	70.2	61.7	55.3	50.1
東北	100.0	89.5	80.3	71.8	64.4	58.6	53.7
北関東	100.0	92.0	84.3	75.7	67.8	61.8	57.5
南関東	100.0	95.2	88.7	80.1	71.6	65.5	61.7
東京	100.0	98.5	95.3	89.4	82.3	75.6	71.2
甲信越	100.0	91.5	82.8	73.7	66.2	60.6	56.4
北陸	100.0	92.4	84.6	75.4	67.2	61.5	57.5
東海	100.0	94.5	88.2	80.1	72.5	67.1	63.7
京都・大阪	100.0	94.3	87.3	77.9	69.5	63.3	59.2
近畿	100.0	92.7	85.2	76.1	68.0	62.2	58.2
中国	100.0	91.8	84.1	75.5	67.5	61.8	57.4
四国	100.0	90.7	82.2	73.0	64.7	58.6	53.9
九州	100.0	91.6	84.4	77.1	70.4	65.0	60.5
全国	100.0	93.2	86.1	77.8	70.0	64.1	59.9

## 6(3) 将来の地域別65歳以上人口推計

我が国の総人口が減少する中、65歳以上の人口は大きく増加し、平成42年には17年の水準の42%増となる。もっとも少ない四国は20%であり、南関東は73%増加する。

	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)
人数(単位:千人)							
北海道	1,207	1,354	1,552	1,665	1,678	1,669	1,650
東北	2,233	2,380	2,610	2,766	2,797	2,765	2,703
北関東	1,385	1,572	1,818	1,968	2,010	2,015	2,025
南関東	3,711	4,616	5,571	6,050	6,213	6,406	6,713
東京	2,325	2,729	3,158	3,341	3,426	3,608	3,895
甲信越	1,298	1,399	1,538	1,605	1,606	1,591	1,578
北陸	690	761	865	901	898	888	877
東海	2,878	3,345	3,872	4,104	4,159	4,224	4,327
京都・大阪	2,179	2,602	3,033	3,164	3,134	3,134	3,192
近畿	1,896	2,188	2,524	2,668	2,691	2,708	2,736
中国	1,764	1,941	2,179	2,269	2,260	2,215	2,177
四国	992	1,063	1,183	1,228	1,219	1,190	1,156
九州	3,203	3,462	3,878	4,169	4,264	4,255	4,220
全国	25,761	29,412	33,781	35,899	36,354	36,670	37,249
平成17年の 人口を100 とした場合							
北海道	100.0	112.2	128.5	137.9	139.0	138.3	136.7
東北	100.0	106.6	116.9	123.9	125.3	123.8	121.1
北関東	100.0	113.5	131.2	142.0	145.1	145.5	146.2
南関東	100.0	124.4	150.1	163.1	167.4	172.6	180.9
東京	100.0	117.4	135.8	143.7	147.4	155.2	167.6
甲信越	100.0	107.7	118.5	123.7	123.7	122.6	121.6
北陸	100.0	110.2	125.3	130.5	130.1	128.6	127.1
東海	100.0	116.2	134.5	142.6	144.5	146.8	150.3
京都・大阪	100.0	119.4	139.2	145.2	143.8	143.9	146.5
近畿	100.0	115.4	133.1	140.8	142.0	142.8	144.3
中国	100.0	110.0	123.5	128.6	128.1	125.6	123.4
四国	100.0	107.2	119.3	123.8	123.0	120.0	116.6
九州	100.0	108.1	121.1	130.2	133.1	132.8	131.7
全国	100.0	114.2	131.1	139.4	141.1	142.3	144.6

## 6(4) 将来の世界人口の推計

日本の人口は減少期に入ったが、全世界では、2005年の65億1475万人から2025年の80億1051万人に増加。うち、アジアは39億3802万人から47億7899万人に増加。

(単位:千人)

	2005年	2010年	2025年	2050年
世界全域	6,514,751	6,906,558	8,010,509	9,191,287
先進地域	1,215,636	1,232,457	1,258,970	1,245,247
発展途上地域	5,299,115	5,674,101	6,751,540	7,946,040
アフリカ	922,011	1,032,013	1,393,871	1,997,935
アジア	3,938,020	4,166,308	4,778,988	5,265,895
(内訳) 中国	1,312,979	1,351,512	1,445,782	1,408,846
インド	1,134,403	1,220,182	1,447,499	1,658,270
ヨーロッパ	731,087	730,478	715,220	664,183
ラテンアメリカ	557,979	593,697	688,030	769,229
北部アメリカ	332,245	348,574	392,978	445,303
オセアニア	33,410	35,489	41,421	48,742

## 7(1) 進学率・地元進学率

大学・短大進学率は、九州の44%から南関東の63%と幅があるが、進学者のうち地元地域に進学する者の割合は、甲信越の30%から南関東の95%まで大きく異なる。

(平成20年度)

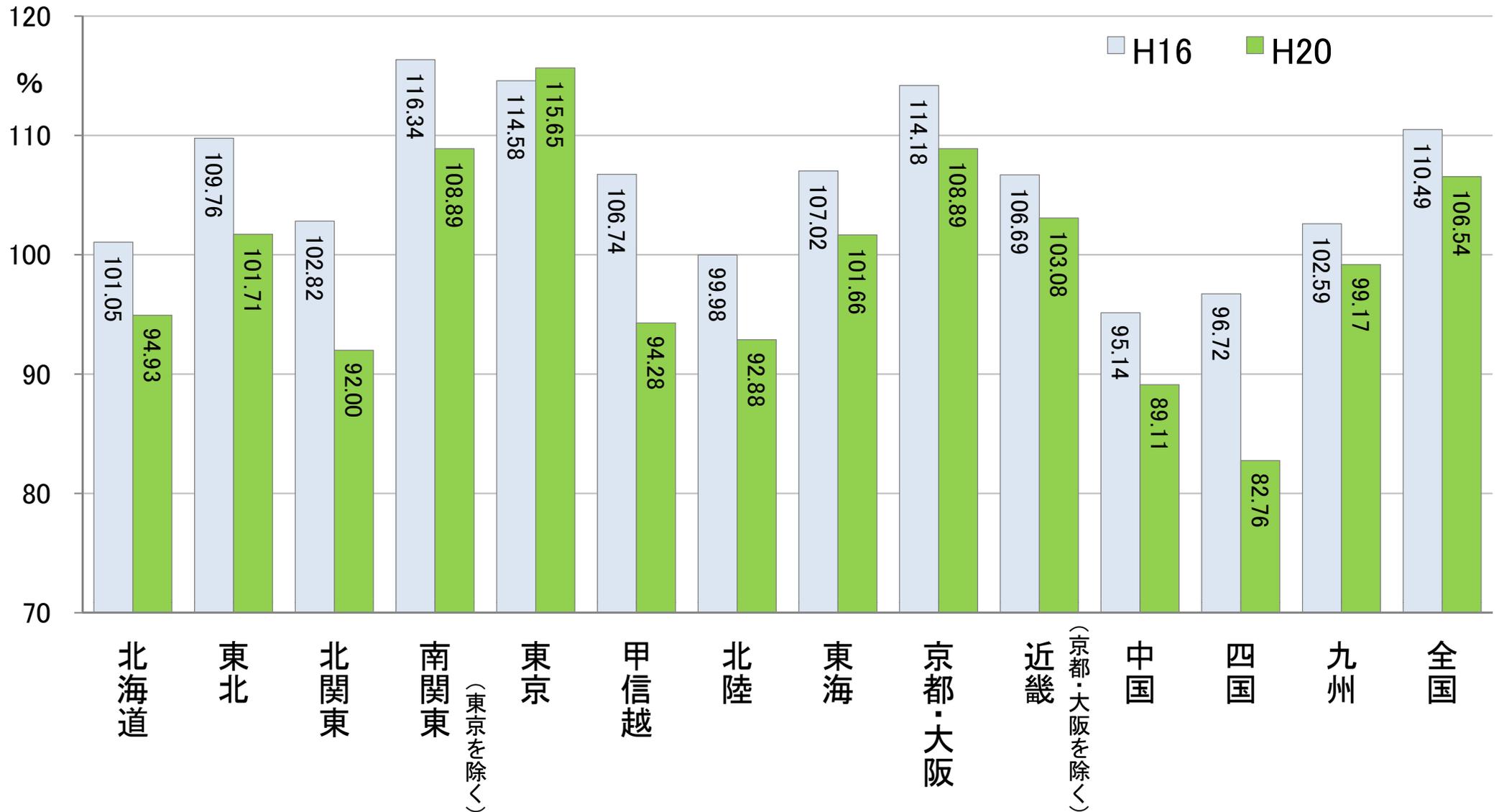
(単位:人)

	(A) 進学者数 (その地域の出身者で、 同一地域内の大学・短 大に進学したもの)	(B) 進学者数 (その地域の出身者の 進学者(どの地域の大 学・短大に進学したかを 問わない))	(C) 進学者数 (出身地域に関わらず、 その地域の大学・短大 に進学した者)	(D) 地域の18才人口	(C/D) 地域の18歳人 口に対する入 学者の割合	(B/D) 進学率 (その地域の 18歳人口の進 学率)	(A/B) 進学者のうち 地元地域への 進学の割合
北海道	17,919	24,373	22,760	54,425	41.8%	44.8%	73.5%
東北	24,933	44,042	30,696	103,107	29.8%	42.7%	56.6%
北関東	11,709	38,642	21,117	72,845	29.0%	53.0%	30.3%
南関東	173,339	182,543	271,238	291,881	92.9%	62.5%	95.0%
甲信越	10,413	30,052	16,415	57,127	28.7%	52.6%	34.6%
北陸	7,723	16,914	12,017	31,094	38.6%	54.4%	45.7%
東海	53,467	79,699	65,088	148,594	43.8%	53.6%	67.1%
近畿	103,508	117,010	139,556	198,195	70.4%	59.0%	88.5%
中国	21,987	40,069	32,485	77,434	42.0%	51.7%	54.9%
四国	8,220	20,705	12,214	41,024	29.8%	50.5%	39.7%
九州	52,630	71,162	60,912	161,568	37.7%	44.0%	74.0%
合計	485,848	665,211	684,498	1,237,294	55.3%	53.8%	73.0%

(その他、海外の高校卒業者等19,287  
人がいるため(C)と一致しない)

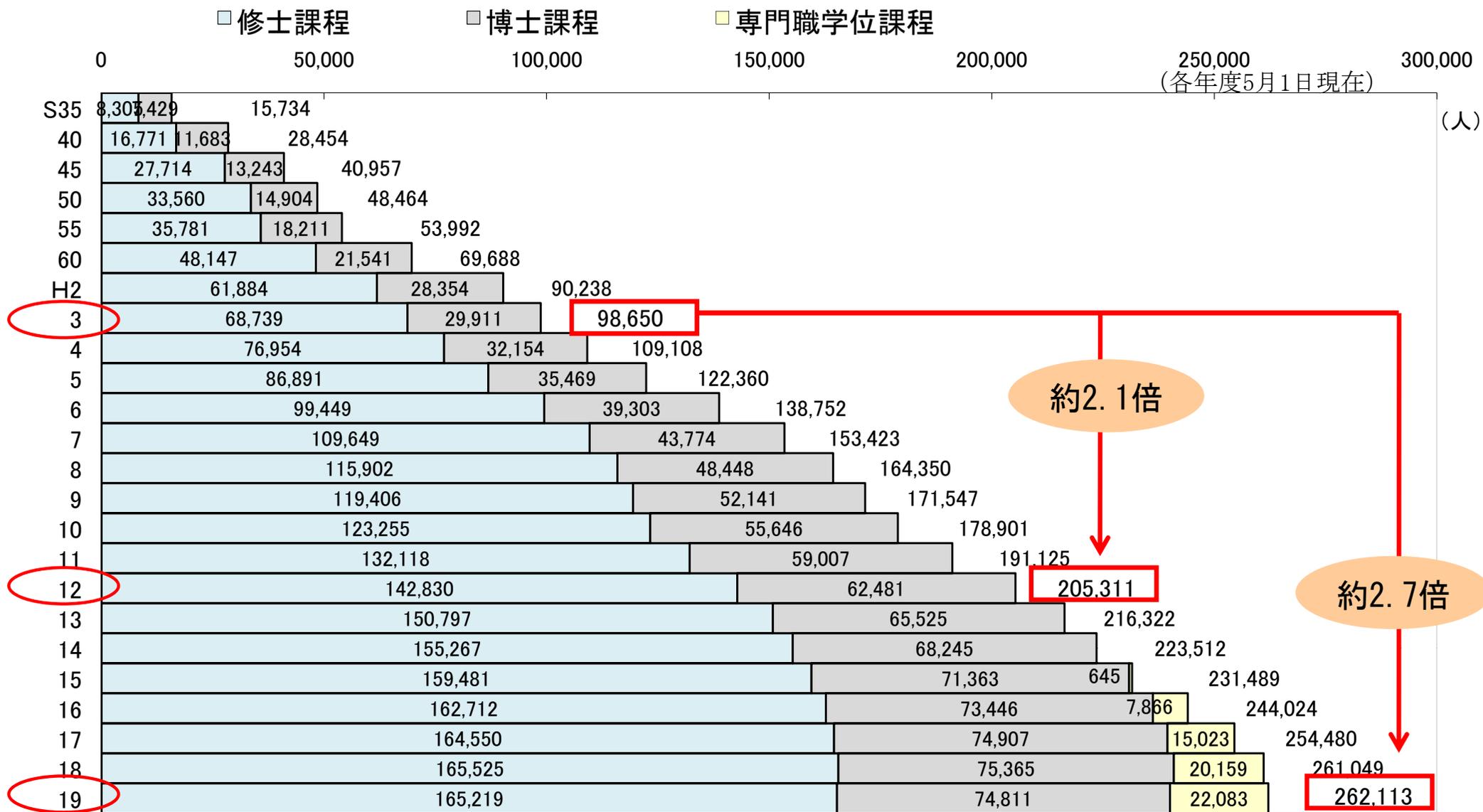
## 7(2) 私立大学の地域別定員充足率

全体的に定員充足状況が、過去4年間で低くなっている。北海道、北関東、甲信越、北陸、中国、四国、九州において、100%を下回っている。



# 8(1) 大学院在学者数の推移

大学院の在学者数はいずれの課程についても増加。平成3年と比較して、12年には約2.1倍、19年には約2.7倍に拡大。



「修士課程」：修士課程、区分制博士課程（前期2年課程）及び5年一貫制博士課程（1, 2年次）

「博士課程」：区分制博士課程（後期3年課程），医歯獣医学の博士課程及び5年一貫制博士課程（3-5年次），通信教育を行う課程を除く

## 8(2) 博士課程への入学状況(分野別・全体)

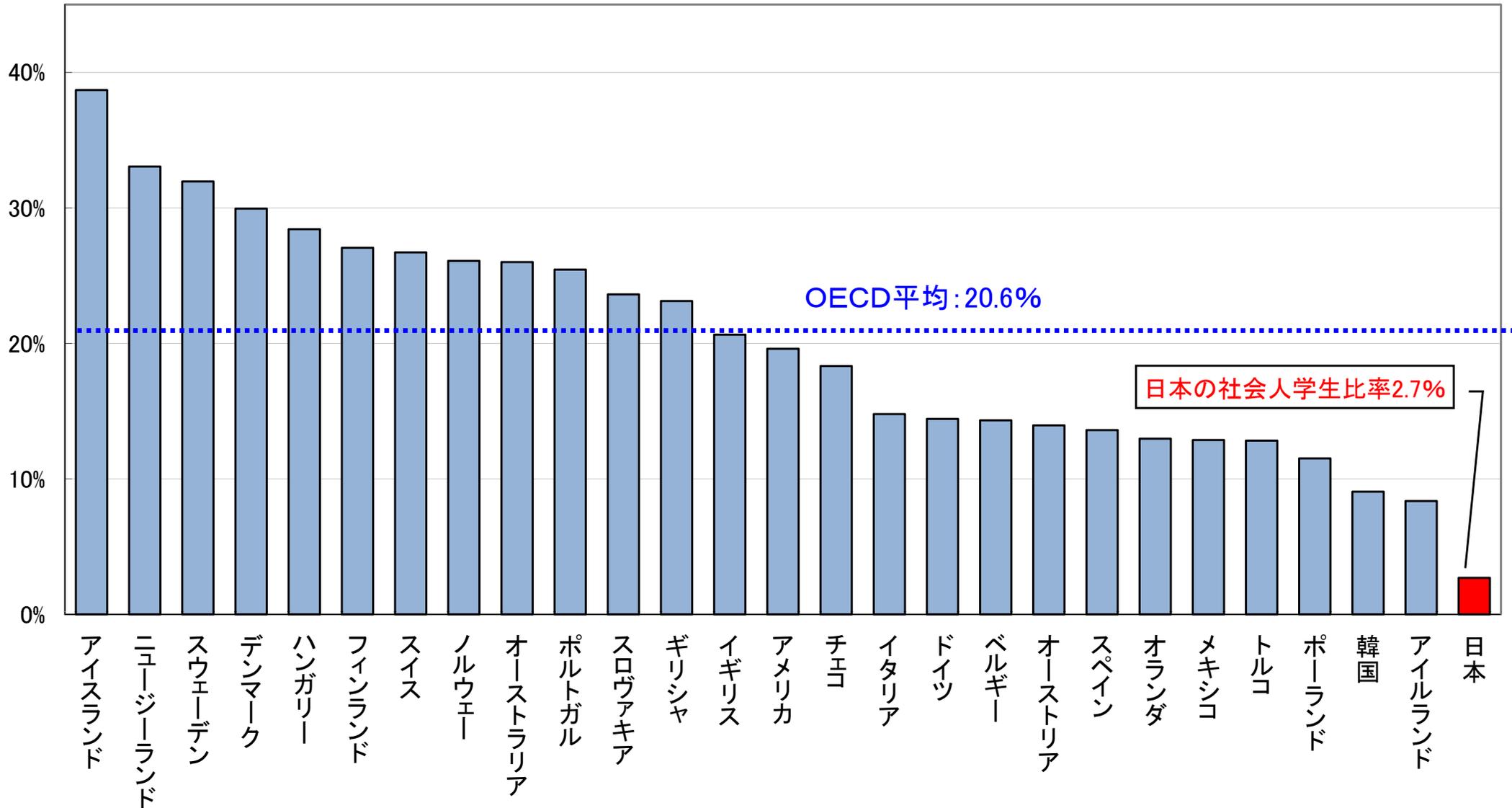
入学定員に対する志願者の割合(競争倍率)は、分野ごとに異なるものの、全体としておよそ 0.9となっている。

(平成19年5月現在)

	入学志願者	入学定員	競争倍率	(参考)入学者
人文	2,343	2,069	1.13	1,555
社会	2,579	2,645	0.98	1,503
理学	1,419	2,070	0.69	1,322
工学	3,560	5,503	0.65	3,264
農学	1,086	1,126	0.96	1,006
保健	6,209	6,774	0.92	5,672
教育	771	459	1.68	453
芸術	363	220	1.65	204
家政	95	108	0.88	93
その他	2,348	2,443	0.96	1,854
合計	20,773	23,417	0.89	16,926

## 9(1) 25歳以上の入学者の割合

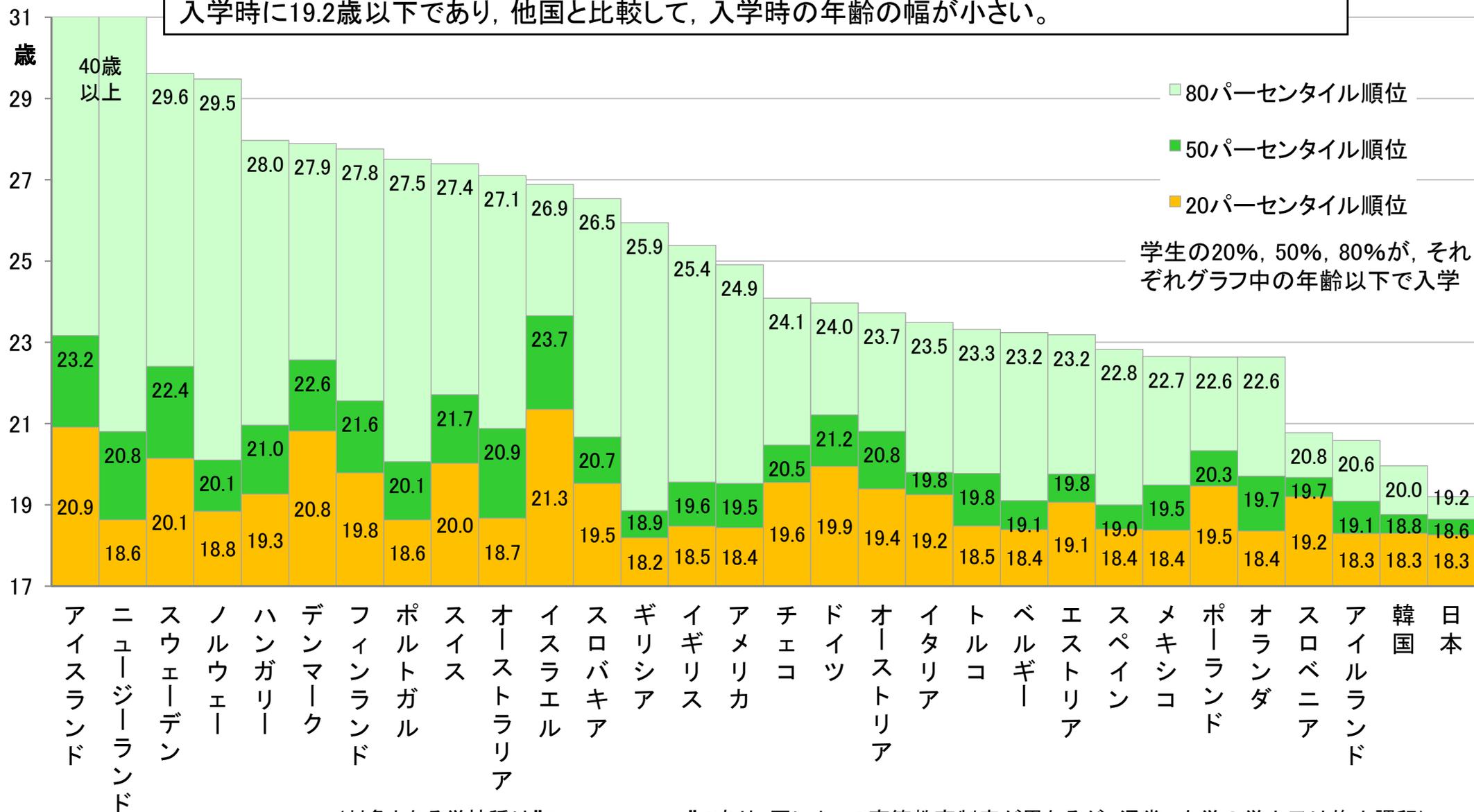
諸外国は25歳以上の入学者の割合が平均約2割に達し、社会人学生も相当数含まれる一方、日本の社会人学生比率は2.7%であり、大きな差があると推定される。



「OECD教育データベース(2006年)。ただし、日本の数値については、「学校基本調査」及び文部科学省調べによる社会人入学生数

## 9(2) 大学への入学年齢の散らばりの国際比較

各国とも、後期中等教育終了後ただちに大学に入学する者が、一定程度の割合を占める。しかし、多くの国で、入学時の年齢にある程度の幅が見られるのに対し、日本の大学生の8割は、入学時に19.2歳以下であり、他国と比較して、入学時の年齢の幅が小さい。

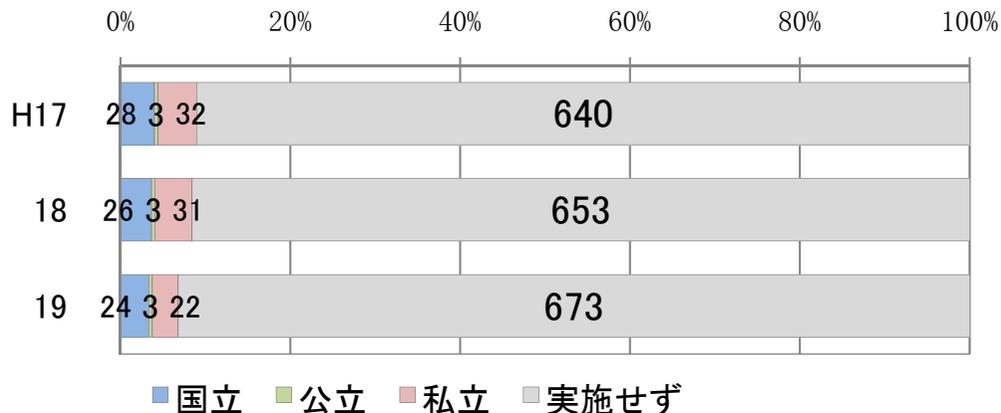


(対象となる学校種は”Tertiary-type A”であり、国によって高等教育制度が異なるが、通常、大学の学士又は修士課程)

## 9(3) 社会人学生等の受入に関する状況

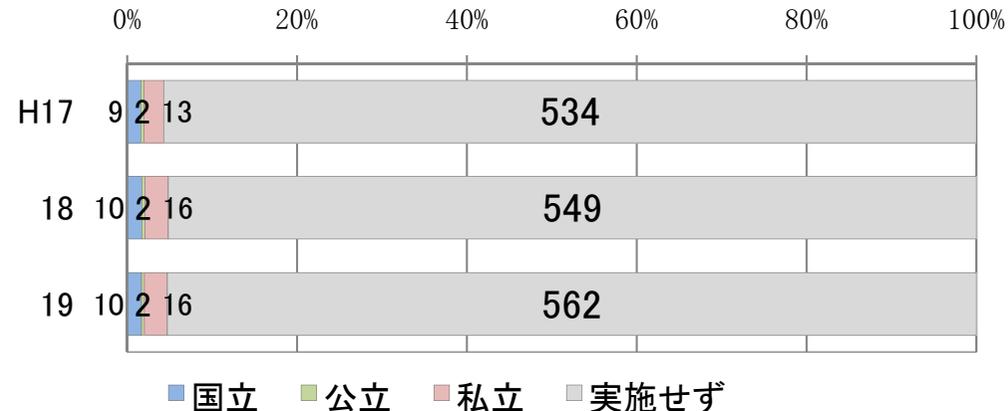
昼夜開講制を取り入れる大学は、学士課程では1割未満にとどまり、大学院では約半数。夜間大学院を持つところは、全大学院のうち約5%。編入学者数は、近年15,000人で微減傾向。

(1) 昼夜開講制を実施する大学数(学士課程)



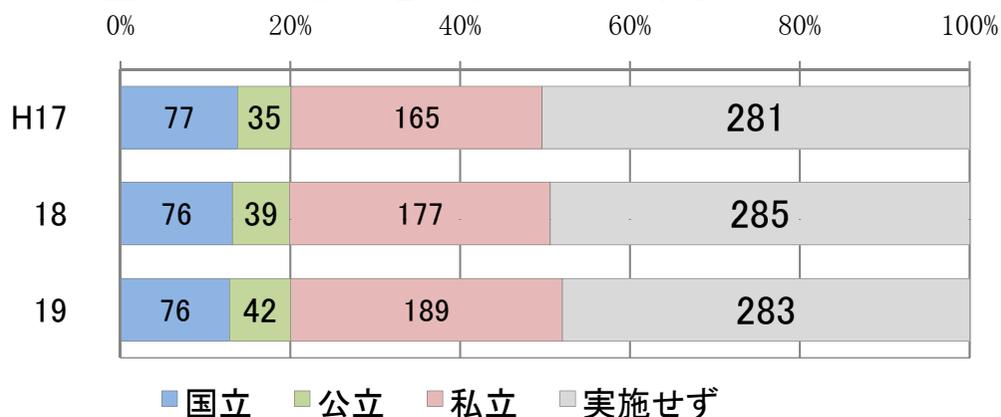
「大学一覧」を基に作成

(3) 夜間大学院



「大学一覧」を基に作成

(2) 昼夜開講制を実施する大学数(研究科)



「大学一覧」を基に作成

(4) 編入学者数

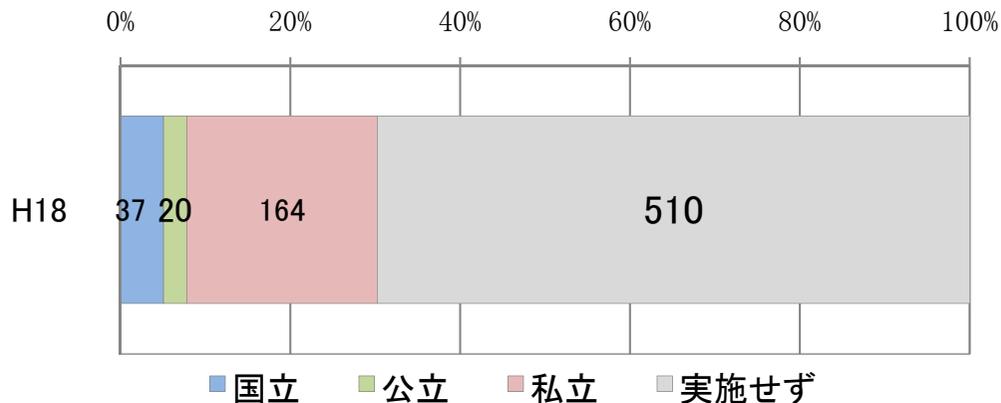


文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」を基に作成

昼夜開講制： 時間的制約の多い社会人等の便宜に配慮して、同一学部において、昼間と夜間の双方の時間帯において授業を行う制度。ここでは、同一学部の中で「昼間主コース」、「夜間主コース」を設けている大学のみを集計。

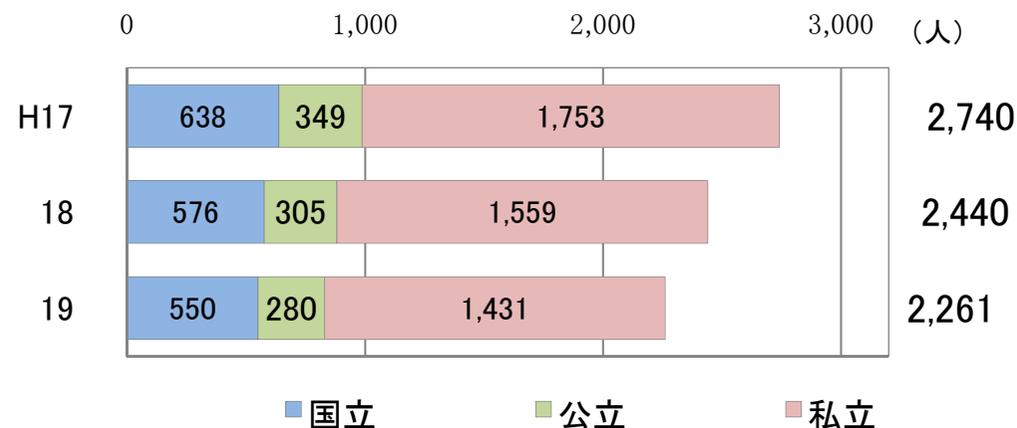
学生以外の者を対象とする教育課程を設ける大学は、全体の約3割。学士課程の社会人特別選抜入学者数は、近年減少傾向。大学院の社会人入学者数はやや増加傾向。

(1) 学生以外の者を対象とした教育課程を設けている大学



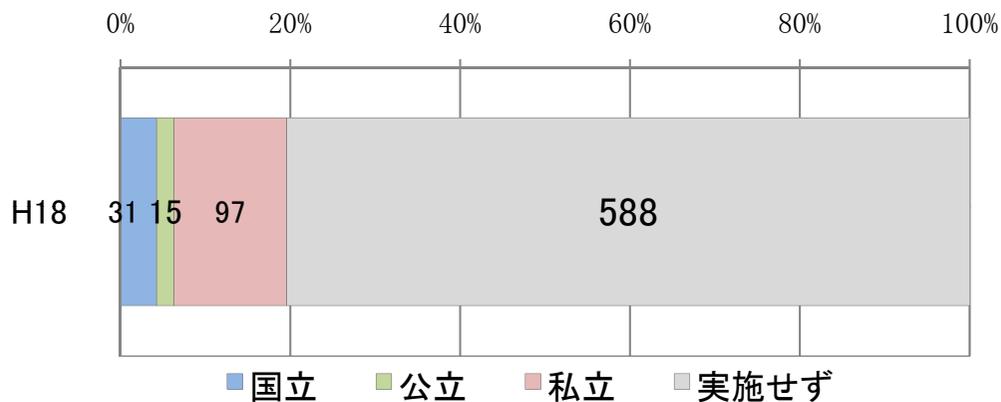
文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」を基に作成

(3) 社会人特別選抜入学者数(学士課程)



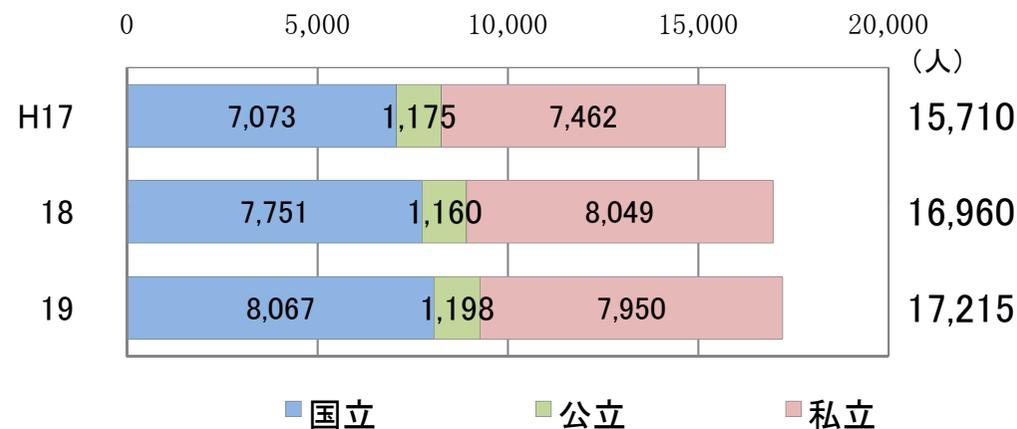
「国公立大学入学者選抜実施状況」を基に作成

(2) うち教育課程修了者に対し証明書の交付を行っている大学



文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」を基に作成

(4) 社会人入学者数(大学院)



「学校基本調査報告書」を基に作成

学生以外の者を対象とした教育課程：主として学生以外の者を対象に、大学の授業科目もしくは公開講座またはこれらの一部により主体的に編成した教育課程(概ね1年未満の短期プログラムを想定)のこと。必ずしも単位認定を行うことを要しない。なお、単発の公開講座は除く。